

脚本を書き、母にドレスを縫ってもらって全力投球。顧問をして頂いた練尾先生はお元気なんでしょうか。

そして先生といえば、御南西公民館の木村要子館長が数学を教えてくださいました。御南の地は教諭、教頭、館長と三度のご縁でいらしたとのことでした。数学の苦手な私はテストの間違いを直して自分で解答の説明ができるまで、何度も職員室詣をしたものです。相変わらずピシッとしたお姿とお話、丸みのある丁寧な文字は、木村先生だ。と生徒に返った気がしました。

卒業して二十年。大きな鉄筋の校舎が二棟並び、周囲の環境もすっかり変わってしまいましたが、思い出を忘れることなく、そして懐かしい人々との再会の機会があることを望んでいます。(昭和52年卒業生)

私と御南中学校

平松里志

私は幼い頃から、木造で赤い屋根の大きな講堂がある中学校を見て育ちました。この頃の中学校は、今の北校舎やプールの有るあたりは荒地地で、この一角には教員住宅がありました。夏休みになると運動場一面に「い草」が干され、現在のように公園の無かった頃の私たちにとっては、格好の遊び場所でもありました。今の中学校には、この頃の面影はほとんど残っていません。

一年生の時の体育の時間はいつも「今日もみんな大きなトリになってもらいます」と言うかけ声のもとに運動場の草取りをしたことや、二年生に上がる時に北校舎の一部が完成し新築の校舎で勉強したこと等、多くのことが思い出されます。

その後生徒が増加したため、わが校は御南中学校と芳田中学校に別れましたが、一学期の間は、校舎の完成が遅れたため、御南中学校の中に二つの中学校が同居していました。

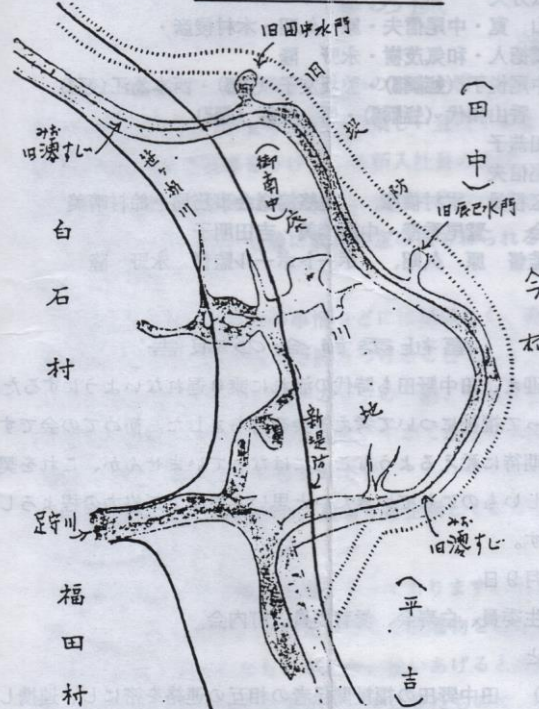
一時期中学校の風紀が乱れ、悪い中学校の代名詞のように言われた時もありましたが、教育理念と伝統を守り、昔のよいものを残しつつ、時代に合わせた教育が受け継がれ、素晴らしい学校にもどっているように思われます。これもひとえに校長先生をはじめ先生方のご努力の賜物です。これからも、この伝統が守られ、百周年、百五十周年と、御南中学校がますます発展して行くことを、皆さんと共に見守りたいと思います。

(昭和45年卒業生)

【連載】

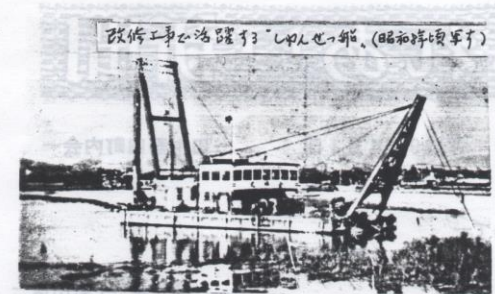
わが郷土を語る(その31) 中尾 佐之吉
御南中のある“笹か瀨川廃川地”は
このように生まれた

笹か瀨川改修前後の比較



敗戦の申し子ともいふべき「御南中学校」が創立50年を迎えるという。「ふれあい新聞」も、このことを記念して特輯号発行の企画とか。そして、その学校用地が、笹か瀨川の改修によって生まれた土地だということでその事情を書くよう求められる。この川の改修のことについては、「大森喜一先生頌徳碑」(御南中校庭の南東隅に建立)の記事を載せた際もふれたので重複する面もあるが、切角の機会であるので改めて書かせてもらうことにする。

この笹か瀨川改修工事は、上図(改修前後の比較図)に見られるように足守川の河口に位置するためか、笹か瀨川がこの地方で今村側に大きくふくれ、滞すも堤防に沿って今村側に湾曲して、出水の際はここに圧力が加わり堤防が常に危険におびやかされていた。このことから滞すを直線に掘り替え、もとの滞すをその土砂で埋めればここに広大な干拓地ができ、一挙両得となるという発想で始められたわけだ。昭和7年のこ



とである。工事は、内務省直轄で行われた。最初は、新堤防建設から始められるのであるが、この土砂は北部の花尻山からトラックで運びこまれてくるのであるから当時としては大変であった。また、瀬戸内海から児島湾をとり笹か瀨川をさかのぼって浚渫船が入ってきて、新しく滞すじになるところを掘削しその水と泥を一緒にパイプを通して旧堤防と新堤防の間へ吹きあげる。(上掲の写真は当時のもの)これによって、今まで沼地であったところが新しい川筋(現在見られるとりの)となり、新旧両堤防の間に新しい陸地が出来ていくのである。

ただし、出来上がった廃川陸地を直ちに何かに利用しようという計画はなかったらしく、しばらくは、草芒々の荒野が原であった。その後、戦争がきびしくなると、食料増産のかけ声に応じて“さつまいも”などをつくる畑に変わるという経過をたどることになる。

戦後は一転する。学制改革で新制の中学校が各市町村に新設されることになると、その位置と学校用地は、問題なくこの廃川地に決定した。

当時は、種々の事情からこの中学校が、今・芳田・白石・大野4か村の組合立となったため通学範囲も広がった。そして、通学の便宜をはかる意味で、笹か瀨川に對岸の「今保」と往来できる通学橋(当時は木造)が架けられた。昔、私が子供の頃には、旧田中水門に渡し場があって、今保へは川舟に乗せられて渡った思い出がある。今保への橋が架かることは、昔から多年の念願でもあったわけであるからよろこびも大きかったと思う。その後、この廃川地へつきつきに施設が立地し、昭和31年には田中野田へ市内バスが通ずるようになった。…往時を回顧すれば夢のようである。

町内花づくりボランティアの募集

昨年、田中野田の公園へ春の一斉清掃の時等に、草花(マリーゴールド)を植え皆様から喜ばれました。町内を花で飾りたいという希望も多いようですので、余暇の利用として花づくりのボランティア活動を、有志の方をお願いすることにしました。下記のように考えておりますので、ご気軽にご参加ください。

- 参加者 花に興味のある方(老若男女を問いません)。
 - 活動 どんな活動をどのようにするかはすべて参加者で考える。
 - 予算 町内会で実情に即して考えさせていただきます。
 - 申し込み 4月10日までに、町内会役員へご連絡ください。
なお、2名以上希望者があれば実施する予定です。
- ※質問があれば町内会長(☎)までご連絡を。